

団体名	鈴鹿大学							
事業名	多文化地域交流フェスタ							
実施期間	2017年6月13日～11月25日							
場 所	鈴鹿大学							
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ	大学関係者	来場者等	合計
	90	36	3	55	3	26	123	336名

<実施内容>

2017年10月・11月を「多文化地域交流月間」とし、留学生を始めとした外国人学生と地域の人とが双方向の交流をするための複合イベント「多文化地域交流フェスタ」を実施しました。

フェスタに先立ち、6月には鈴鹿大学留学生1年生全員を対象に、地域のおりがみ先生を招いて「おりがみ体験」を実施し、「世界の人と折るおりがみ」に参加するボランティアを募りました。「世界の人と折るおりがみ」では、地域のおりがみ先生と留学生をはじめとした外国人学生のアシスタントが地域の人とおりがみで交流しました。

「多言語・多文化教室」では、鈴鹿大学の外国人学生が自国の言語、文化を地域の人に伝え、話し合いました。

「第20回外国人日本語スピーチコンテスト」では、三重県下在住・在勤の、留学生をはじめとした外国人のスピーチをみんなで聞くことで、外国人の体験や思いを地域の人と共有しました。

「第3回 外国につながる人の 母語・継承語スピーチ発表会」では、外国人によるスピーチ発表を、彼らが母語・継承語とすることばで聞きました。

「いけばな体験」では、いけばなの歴史や基本について知り、実際に花を活ける中で、外国人と地域の人が交流しました。

最終のイベントである「多文化地域交流パーティー」では、多文化地域交流フェスタとして開催されたすべての行事を振り返り、伊勢湾と鈴鹿山脈を見下ろす鈴鹿大学の食堂で、みんなで各国の料理や飲み物を体験しながら交流しました。

<記録写真>



世界の人と折るおりがみ



第20回外国人日本語スピーチコンテスト



第3回 外国につながる人の母語・継承語スピーチ発表会

<参加者からのコメント>

カドカ プラジワルさん(ネパール)/KHADKA PRAJWAL 王娟さん(中華人民共和国)/WANG JUAN

多文化地域交流フェスタに参加したおかげで、日本の文化をよりよく知ることができました。自国のほとんどの人が知らないおりがみのボランティアに参加しました。教える立場だったのに、日本の子どもたちからたくさん教えてもらい、子どもたちの器用さに驚きました。私は恥ずかしがりなのですが、外国人日本語スピーチコンテストと多文化地域交流パーティーで司会をつとめ、大勢の前で恥ずかしがらず話せるようになりました。人生において成功するために必要なものの一つは自信です。その自信をこの機会に得ることができて嬉しいです。

外国人日本語スピーチコンテストでスピーチを発表しました。どうしても中国に残した娘のことを話したくて、娘に伝えたいことを題名にしました。初めての日本語のスピーチでしたが、先生方に指導していただき、予選でも本選でも多くの人から温かいことばをかけてもらい、本当に嬉しかったです。他の発表者と競い合い、交流することができ、大変勉強になりました。この場を通して、自分の娘に対する気持ちを十分に表現できたと思っています。今後もこのような機会があれば、ぜひ参加したいです。